

**国連安保理改革に関する
G 4（日本、インド、ドイツ、ブラジル）外相会合
共同プレス声明（仮訳）**

2017年9月20日、河野太郎日本国外務大臣、アロイジオ・ヌネス・フェレイラ・ブラジル外務大臣、ジグマー・ガブリエル・ドイツ副首相兼外務大臣及びスシュマ・スワラージ・インド外務大臣は、ニューヨークにおける第72回国連総会の機会を捉え、国連安保理改革を加速化するための方途につき検討するために会合した。

G 4 外相は、安保理をより正統性があり、実効的で、かつ代表性の高いものとするため、常任・非常任理事国双方の拡大、作業方法及び安保理の代表性の改善並びに途上国及び国連への主要な貢献国の強化された役割を含む、早期の安保理改革の必要性を再確認した。G 4 外相は、国連加盟国の数が1945年の51か国から、今日193か国に増加していること及び安保理の現在の構成が変化した国際社会の現実を反映していないことを認識し、今日の複雑な課題に対処することを可能にするためには、安保理が今日の世界を反映する必要があることを強調した。

G 4 外相は、改革された安保理における新たな常任理事国となることに対するコミットメント及びその候補としての相互への支持を改めて表明した。

G 4 外相は、共同議長ペーパー（「一致点と更なる議論を要する点」）の確定を含む第71回総会会期の政府間交渉共同（IGN）議長によるイニシアティブに対して評価を示した。G 4 外相は、第71回総会会期末までに、包括的な改革の全ての論点につき議論が尽くされたとの点で一致した。そのため、G 4 外相は、政府間交渉の10年目及び総会による一貫した議論及び検討の25年目に当たる第72回総会会期中に、次の段階に進み、テキスト・ベース交渉を開始する時であるとの確信を表明した。

G 4 外相は、国連を21世紀にふさわしいものとするために改革を開始するというアントニオ・グテーレス事務総長のコミットメントを歓迎し、この文脈において、国連改革の取組全体における不可欠な要素は、引き続き、安保理改革であることを想起した。G 4 外相は、政府間交渉をテキスト・ベース交渉という次の段階へと前進させるため、ミロスラフ・ライチャーク第72回総会議長に対し全面的な支援を行う用意がある旨を表明し、また、現在行われている改革プロセスに対する同総会議長のコミットメントを歓迎した。

G 4 外相は、安保理改革フレンズ・グループ会合を含む様々な機会における志を共にする国とのやり取り及び協力に関するそれぞれの評価につき意見交換をした。G 4 外相は、圧倒的多数の国が、安保理の早期改革を実現するために、テキスト・ベース交渉の開始を支持していること及び多数の国が常任・非常任理事国双方の拡大を支持しているという事実にも勇気づけられた。また、G 4 外相は、アフリカ共通ポジションに対し多くの加盟国から表明された支持を強調する必要があることで一致した。この関連で、G 4 外相は、安保理改革を迅速に実現するために、全ての国連加盟国、特に、志を共にする国と協力するための取組を強化することで一致した。

G 4 外相は、2017年8月30日に安保理議長ノート507が採択されたことを安保理の作業方法の改善に向けた具体的な取組として、歓迎し、同ノートの改訂に向けた日本のイニシアティブを評価した。

最後に、G 4 外相は、第72回総会会期中のテキスト・ベース交渉の開始を促進するという決意を改めて表明した。G 4 外相は、テキスト・ベース交渉に向けた更なるモメンタムを得るため、G 4 とその他の志を共にする国及びグループとの間の対話を加速化することで一致した。

G 4 外相は、それぞれの局長に対し、それぞれの国連常駐代表と緊密に連携し、今般一致した点につき実施するよう指示した。

ニューヨークにおいて
2017年9月20日